

お知らせ NEWS

- 9月20日1時より大阪商工会議所内にて43期上期の目標会議を開催します
- 10月2日～4日の機械要素技術展(大阪)に参加致します。是非ご来訪下さい
- 南海トラフ巨大地震が起きる確率は今後30年以内に70%以上ある事を意識して普段から地震への備えを進めるようにして下さい

社内親睦旅行の日程 管理部 Mさん 寄稿



社内旅行日程



天草のきれいな海



阿蘇山



熊本城

9/26(木)～9/28(土)に天草、阿蘇、熊本への社内旅行を計画しています！旅行の日程や観光予定地についてはPDFをご確認ください。1日目の夜には、楽しいビンゴ大会を開催予定です！



私の健康法 大阪 MTさん 寄稿

運動不足・ストレスの解消方法の一つとして、長年ジョギングをしています。普段は自宅から駅周辺までの約8キロを週1回 走っていますが、坂が多いので特に夏場はこたえます。毎年数回マラソン大会にエントリーしており、今年は舞鶴と恒例になった奈良にエントリーしました。

これから秋にかけて大会に向けて本格的に準備していきます。普段は走れない街の中を走り、沿道からの声援をもらいゴールを切ると何とも言えない達成感があります。

身体を動かし汗をかくと、頭がスッキリします。一度はウルトラマラソンにもチャレンジしたいのですが無理をせずに自分のペースで今後も続けていきたいと思っています。

取扱商材 東京 Mさん 寄稿



ディ・エス・シーでは取扱商材としてメディア製品を扱っています。用途は様々で原料などの粉碎・攪拌や研磨・バリ取り、めっきの補助や錘として使われます。主にスチール系とセラミック系があり対象製品により使い分けが行われています。

弊社で特に力を入れている分野は、皆さんが普段使っているスマートフォンや、自動車等には必ず搭載されている積層セラミックコンデンサー(MLCC)で、電子産業のコメとも言われており、世界的に見ても日本メーカーのシェアが高く弊社もMLCCメーカー様と取引させて頂いております。

お客様の要望を丁寧に確認し、仕入先との交渉、時には仕入先の工場へ視察や監査を行い信頼・信用を頂けるように日々努力をしております。

私が入社した当時は、まだ取引後間もなかったお客様も地道な積み重ねをご評価頂き、近い将来には大きな取扱量を期待できそうです。

この業界は今後とも大きく成長拡大が期待できますが、反面、市場競争が非常に激しく常にお客様の立場に立って厳しく品質・価格・納期を向上させてゆかねばなりません。

これからも自らを磨き上げ、お客様に喜んで頂けるように邁進して行きたいと思っています。

私のコレクション 東京 Wさん 寄稿



私の趣味はガチャガチャをすること(カプセルトイ収集)です。次から次へと出る新商品の情報をSNSでチェックして、目ぼしいものは探しに行きます。

昨今の流行りY2Kは2000年頃のギャルファッションのリバイバルです。平成レトロと言われると複雑な気持ちにはなりますが、Y2Kブームと共に、私の子供時代のアニメやキャラクターのグッズに憧れていた当時のブランドなど懐かしく手元に残しておきたいものが数えきれないくらい商品化されています。欲しいものがたくさんあり、ガチャガチャを回さない他はありません。

皆様もぜひ小銭がたくさんあったら是非1回ガチャガチャをしてみてください。きっと1回ではやめられません。あともう1回まわせば欲しいものが出るような気がしてくるので、、、(笑)

在庫の取り扱い 管理部



期末近くになりましたので、在庫の取り扱いの進め方について少しお話しします。適正在庫の確保を進める前に、先ずは仕入先には納期短縮の協力要請を行い、そして客先にはそのリードタイムについての理解を求め、内示数量の引取責任をお願いした上で、職務権限規定表に沿って会社承認を申請し適正在庫を確保して下さい。

予定が大きく違って半年以上も流動がない長期在庫品になった時は、客先に正式文面にて滞留在庫の引き取りをお願いしましょう。納入指示があった場合は、必ず出荷前に荷姿の異常の有無、在庫品の外観検査(変色汚れなど)を行ってください。また必要に応じて、仕入先に再検査を要請して下さい。逆に、引取交渉が不調に終わった時は、営業所所長はその対応について会社と相談し処理方法について指示を得る必要があります。

適切な在庫数量を確保する事は、業務上必要ではありませんが、長期の不動在庫によりDEAD STOCKになるリスクもありえます。金額的な被害と信用も失墜するケースがありますので、皆さんは客先との打ち合わせを行い、慎重に在庫手配をする様に心がけて下さい。

国指定重要無形民俗文化財

小倉祇園太鼓

九州 Aさん 寄稿



毎年7月第3週末に開催される小倉祇園太鼓は、約400年前小倉藩主細川忠興公の時代に始まった祇園祭が現在の形になり、国指定重要無形民俗文化財とされています。

町内毎に趣向を凝らした山車の前後に2台の太鼓を据え、太鼓の両面を4人で歩きながら打ち、チャンガラ(摺り鉦)、山車をひく子供達の「ヤッサヤレヤレ」というお囃子と共に街を練り歩くスタイルが特徴的です。

子供達のお囃子に合わせた太鼓やチャンガラの音はのどかな響きがありますが、夜、太鼓を据え、腕自慢の打ち手達が代わる代わる披露する暴れ打ちの音が小倉の街中に響き、クライマックスを迎えます。

今年は残念ながらお祭りを見る事ができませんでしたが、また来年を楽しみにしたいと思います。